



<学校教育目標> 豊かな心と夢をもち 自ら学び続けるたくましい児童の育成

<目指す子供の姿>

やさしく

かしこく

たくましく

今年度の重点目標

相手を思いやり、自ら考え行動する児童の育成

スローガン

つなぐ ～ 心・学び・伝統 そして 感謝 ～

豊かな心の育成

- ・「いのちの教育」を核とし、全教育活動を通してよりよく生きようとする道徳性を養う。
- ・「特別な教科 道徳」の充実と体験活動の充実を図る。
- ・人の役に立つ活動を推進し、自己有用感を育む。
- ・互いのよさや違いを認め合える温かい人間関係づくりを通して、自己肯定感、自己存在感高める。

かしこく

- ・授業を通して、学び合う楽しさを実感し、学ぶ意欲を高める。
- ・基礎的・基本的な学力を身に付ける。
- ・主体的に考え、多様な立場から協働的に議論する。
- ・各教科等の学びを「つなぐ」「生かす」「活用する」。(SDGsの実施)

確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善を図る。
- ・教科等横断的な視点に立ち言語活動、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する。
- ・授業力向上のため、研修体制を整える。
- ・カリキュラムマネジメントを実践する。

やさしく

- ・自分のよさや可能性に気付き、他とのつながりを実感する。
- ・心をつないで気持ちのよいあいさつをする。
- ・縦割り活動等を通して、互いのよさを認め合い、思いやりの心で接する。
- ・豊かな自然や地域の方との触れ合いを通してふるさとへの愛着と誇りをもつ。

たくましく

- ・望ましい生活習慣を身に付け、安全・安心な生活を主体的に送る。
- ・運動の機会を通して、運動する楽しさを知り、進んで体力の向上に努める。
- ・情報モラルやルール、マナーを身に付け、情報機器を適切に使用する。

特別支援教育

- ・児童一人一人の実態を把握し、個に応じた支援と合理的配慮を推進する
- ・家庭や地域、関係機関との連携を図り、長期的視点で教育的支援を行う
- ・いつでもどこでも対応できる体制づくりを図る。

生徒指導

- ・一人一人のよさや可能性を積極的に見付け、児童理解を深める。
- ・学校生活のあらゆる場面で自己指導能力の育成を目指す。
- ・全校体制による組織的、計画的な生徒指導を進める。

安全・安心な学校づくり

- ・高い危機管理意識をもつ。
- ・報連相+確認を徹底し、いじめや事故の未然防止を図る。
- ・安全指導、防災教育、染症対策等、「自分の命は自分で守る」意識を育てる。
- ・児童、保護者、教職員同士が何でも話せる関係づくり、環境づくりに努める。

信頼される学校づくり

～家庭や地域の教育力との連携～

- ・一人一人の健やかな成長のため、家庭や地域とのコミュニケーションを大切に共に歩む。
- ・積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。
- ・地域諸団体の声や学校評議員の意見、学校評価の結果を学校改善に生かす。
- ・小小連携、小中連携を推進する。

